

Rotary



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2016～2017 年度 高山中央 RC 会長テーマ

「情熱と友情そして・・・永遠に」



人類に
奉仕する
ロータリー

◆会長 田中 雅昭 ◆幹事 中田 学 ◆会報委員長 津田 久嗣 ◆会報担当 内田 茂

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	会長支持率
本日 1105 回	59 名	58 名	47 名	—	81.03%
前々回 1103 回	59 名	58 名	48 名	2 名	86.21%

高山 3 RC 合同ガバナー公式訪問例会

《日 時》 2016 年 9 月 20 日 (火) 12:30～

《会 場》 ひだホテルプラザ 3 階「吉祥の間」

《司会進行》 高山中央 RC 幹事 中田 学

<点 鐘> 会長 田中 雅昭

高山ロータリークラブ 第 2980 回

高山西ロータリークラブ 第 2459 回

高山中央ロータリークラブ 第 1105 回

<ロータリーソング> 奉仕の理想

<ゲストの紹介>

国際ロータリー第 2630 地区ガバナー・・・ 劔田 廣喜 様

国際ロータリー第 2630 地区濃飛グループガバナー補佐・・・長瀬 隆 様

<地区委員/委員の紹介>

国際ロータリー第 2630 地区パストガバナー・・・ 桑月 心 様

国際ロータリー第 2630 地区代表幹事・・・ 伊藤 正隆 様

国際ロータリー第 2630 地区会計長・・・ 前越 路子 様

国際ロータリー第 2630 地区広報 I T 部門委員長・・・ 伊藤 松寿 様

国際ロータリー第 2630 地区青少年育成小委員会委員長・・・ 下田 徳彦 様

国際ロータリー第 2630 地区会員増強委員・・・ 平林 英一 様

国際ロータリー第 2630 地区青少年交換委員・・・ 三枝 祥一 様

国際ロータリー第 2630 地区米山記念奨学委員・・・ 村瀬 祐治 様

国際ロータリー第 2630 地区大会実行委員長・・・ 島 良明 様

国際ロータリー第 2630 地区幹事・・・ 小森 丈一様・住 宏夫様・三枝 祥一様

橋本 修様・松之木映一様・清水 幸平様

岩垣津 亘様・大久保正博様・村瀬 祐治様



<会長の時間> 会長 田中 雅昭

皆様こんにちは。本日は国際ロータリー第 2630 地区ガバナーの劔田廣喜様をお迎えしての、高山 3 ロータリークラブ合同ガバナー公式訪問例会です。劔田廣喜ガバナー様、長瀬隆ガバナー補佐様はじめ地区役員、地区委員、地区幹事の皆様方にはお忙しい中ご臨



席賜り、誠にありがとうございます。本日は宜しくお願い致します。

さて昨年は高山ロータリークラブ 60 周年、高山西ロータリークラブ 50 周年、高山中央ロータリークラブ 25 周年と、各クラブに於いて周年事業が盛大に執り行われた事に対し、心よりお慶びを申し上げると共に、敬意を表するものであります。次の周年事業に向け、また新たなる目標に向かって、飛躍されることを心から祈念申し上げます。

さて今年 4 月に来日した南米ウルグアイの元大統領ホセ・ムヒカ氏の事は、皆さんもよくご存じと思いますが、「世界で一番貧しい大統領のスピーチ」をお聞きになったかと思います。元大統領は先人の言葉を引用し「貧乏な人とは、少ししか物を持っていない人の事ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことだ」と言われました。ウルグアイは長きに渡って、マイナス成長が続く経済危機がありました。今は回復基調にあるようです。しかし経済的には豊かな国とは言えません。そんな中、人類の幸福度が国連から提供されている、「世界幸福度報告書 2016」では、150 数ヶ国中ウルグアイは 29 位です。日本はと言うと 53 位となっています。ちなみに 1 位デンマーク、2 位スイス、3 位アイスランド、4 位ノルウェー、他ではアメリカ 13 位、タイ 33 位、中国 83 位・・・との結果です。経済的豊かさと、人類の福祉の指標は同じではありません。物質的な物、金銭的な裕福さだけでなく、心の豊かさに焦点をあて、例会に多く出席する事で、心豊かな人格を形成し、奉仕の心を芽生えさせ、「超我の奉仕」に皆様と共に邁進しようではありませんか。

最後になりましたが、2016-17 年度国際ロータリー第 2630 地区の地区大会が、来る 10 月 22 日、23 日（ロータリーデー 19 日～23 日）に開催されます。まずもって各クラブ様には全員登録をして頂き誠にありがとうございます。2 年あまり前から準備をしてまいりましたが、全ては人事を尽くして天命を待つ如く、高山 3 ロータリーの皆様方のご協力のもと、今を大切に、最善を尽くす事で最高の地区大会「心の心を文化に！！飛騨高山で！！」を成功させる事が出来るものと確信しております。最後までご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。会長のご時間とさせていただきます。ありがとうございます。

さて会長支持率やいかに！！

そしてガバナー支持率は？

<歓迎の挨拶>

高山ロータリークラブ会長 住 宏夫 様

皆さんこんにちは
国際ロータリー第 2630 地区ガバナー 劔田廣喜様をはじめとする地区役員の皆様 2630 地区の北の果て高山の地によろこおいでくださいました。と歓迎の挨拶が始まる所ですが、長瀬隆ガバナー補佐以外の役員はすべて高山 3 ロータリークラブのメンバーですので、長瀬隆ガバナー補佐だけに特別遠いところ高山へようこそと言いつつともに、高山 3 クラブ合同例会に、地区役員の皆様のご臨席賜りありがとうございます。

さて、国際ロータリー会長・ジョン・F・ジャームさんは、「人類に奉仕するロータリー」をテーマに、世界を見据えた活動を推進しています。私たちも、その活動についていくことが必要ですが、まずは足元を固めていくことが必要です。劔田ガバナーは、「最も出席するもの、最も報いられる」をテーマに、101 年前のロータリー創立の精神を大切に活動しています。

後ほど劔田ガバナーには、卓話をいただきますがその思いを熱く語っていただけるものと思います。

そして、1 か月後には、地区大会が開催されます。私たち高山地区のクラブとして一致団結して開催できるようバックアップしていきます。

何はともあれ、今日は、地元でのガバナー訪問ですので楽しい例会になればいいと思います。

今日は、よろしくをお願いします。

<ガバナー紹介>

濃飛グループガバナー補佐 長瀬 隆 様

<ガバナー表彰>



<表彰者代表スピーチ>

高山ロータリークラブ 早川 宏治 様
高山西ロータリークラブ 平 義孝 様

<ガバナー卓話> ガバナー 劔田 廣喜 様

本日の公式訪問はホームということで、最もリラックスできると高くくっておりましたが、あにはからんや、これまでの公式訪問の中でも一番緊張しております。それにはそれなりの理由があります。逆にホームゆえに皆さんお一人お一人をよく存じ上げているが故であります。本日は会員卓話ではなく、ガバナー卓話でありますので、私に課せられた責務を果たしますので悪しからずお付き合いをお願いします。



2016 年度規定審議会で大きな変更があり、それによってクラブが混乱していると聞きます。

2016 年度規定審議会の変更をひと言で云えば、**クラブに柔軟性**を持たせること、即ち、今までは決まったことを「頼り」にしていれば済んだところが、これからは、クラブの在り方全てがクラブにその**自由と、責任が課せられた**とも云えます。クラブが**自主性**をもって進むべき方向を決定しなければならぬと云うことです。つまり発展するも停滞するも、クラブ次第になったのです。

また見方を変えれば、日本の伝統的なロータリー文化を順守しようと考えれば、今まで以上にその理念を明確に打ち出すことも可能であると考えられます。

いずれにせよ、RI の示す方向に進んでも良し、伝統を守っても良し、多様性が認められ、**クラブは二極分化**が進むでしょう。これからは、クラブが選ばれる時代となります。それでは、クラブの方向性を示すものはなにか？云うまでもなく**クラブ細則**です。細則の中で、独自性即ち**所在地における存在意義**を示すことができないクラブいずれの方向性も示すことができないまま途中半端なクラブ、**クラブ細則で管理運営**できないきないクラブが衰退するであろうことは断言できます。

(服部芳樹 PDG 2016~17~18 年ロータリークラブ細則

原案解説参照)

今回の規定審議会変更の背景にあるもの（バックボーン）は、現在、国際ロータリーによると、ロータリー会員の 70%以上が 50 歳以上であり、30 歳未満が世界人口の約半分を占める今日の世界と大きくかけ離れています。会員増強のカギの一つは、例会に関する厳しい規則を和らげ、また日本のロータリーが心捧している伝統的なロータリーの在り様、基本的なルールを変えることによって、若い世代とデジタル志向の人びとのニーズに応えるという若い世代へのプロモーション、リクルートであると思います。そして、若い世代の参加を促すには「時代に即す」ことが何よりも重要という考えに沿った変更であります。

では、「時代に即す」とはどのようなことでしょうか？

私が国際協議会で研修を受けてきたフレッシュな視点が軍に改革をもたらすきっかけとなった、ある事例です。新米兵たちの基礎訓練で、教官が大砲の使い方について説明している時の事です。弾をこめた後、8秒数えてから発射するようにと教官は言いました。教官が先に進もうとしたとき、新兵の一人が、軍隊では通常タブーとされている行動に出ました。手を上げて質問したのです。

「教官、なぜ8秒待たなければならないのですか？」

明らかに面喰った教官は、それに答えずに次の説明を続けました。しかし、その質問が頭から離れず、数日後、8秒ルールについて同僚に聞いてみました。軍事マニアだった同僚が調べた結果、8秒ルールの由来が明らかになりました。昔は馬を使って前線に大砲を運んでおり、発射音で馬が怯えないように大砲から遠ざけるのに必要な時間が8秒だったのです。ここ数十年、馬は使っていないにもかかわらず、ルールだけが残ったというわけです。おかしい話だと思われるかもしれませんがロータリーにも同じような事があると思います。最近ロータリー活動が多面的になり、新しい会員には、ロータリーとは何であるか余程よく説明しないと、わかり難いと思われまので、ロータリーに経験の深いベテランロータリアンによる簡便な説明が伴わないと、ロータリーが何であるかわからないまま、或いは終わってしまうことにもなりかねないと危惧しています。

単に定款・細則やロータリー用語の開設に終始することなく、会員自身がロータリーに興味をもち、自らがもっとロータリーを知ろうとする、そして一人でも多くの会員にロータリーが好きになるきっかけを与えることが大切ではないでしょうか。新しい会員にやりがいのあるプログラムを提供することです。こうしてロータリーを知ることにより、ロータリーに情熱を燃やすようになり、意欲的なロータリアンになるものと思われます。

今回の変更で見えてきたものがあります。それは、RIの変質であります。これまで、国際ロータリーは3年ごとの規定審議会を経るごとに、雪崩を打つかのように変貌し、今や国際ロータリーはロータリー財団頼みの組織に変質しました。国際ロータリーは人道的世界社会奉仕事業を金看板とする組織なのです。

ファイナルインチを迎えたポリオ撲滅に続いてRIが未来を託す巨大プログラムは世界平和に関するものでしょう。ノーベル平和賞まで視野に入れた徹底した成果主義によってRIのブランド、アイデンティティーの確立を目指したのです。これが財団100年の歴史が指し示すRIの方向性です。

この様に国際ロータリーは、人道的世界社会奉仕に向かつて突き進んでいきます。私は人道奉仕が悪いと言っているわけではありません。ロータリアンは常に弱者に涙する心を失ってはなりませんし、財団の寄付、人道奉仕はできる限りしなければなりません。ただ、それはロータリアンが例会で奉仕の心を身に着けたことの反射的效果にすぎないので、あくまでもロータリーの心を磨き職業奉仕の専心によって自分の職業を安泰にしてからということなのです。今や例会やクラブ委員会活動における人間形成への努力が忘れ去られ、寄付額や単なる社会奉仕活動の実績だけでロータリークラブやロータリアンが評価されることに重点が置かれ、その見返りにロータリーが失ったものはロータリー精神性、ロータリーの心であります。

ここで、ロータリーの心を説明させていただきます。

（ロータリーの心）私達はこれまで（ロータリー）をあまりにも難しく考え、語ってきたのではないかと思います。ロータリーという組織は決して複雑で難解なものではないし、そうなるものでもありません。なぜならばロータリーの理念は古くから人間が大切にしてきた

道徳、つまり中国で古くから使われる仏教用語の寛恕（広い心で許す）（わたしは、思いやりの心、助け合いの心と言っております）。ですからロータリーが訴えかけている奉仕の理念は時代を超えて変えてはならないロータリーの心と呼びなおしてもいいと思います。ここで、ロータリーの心とは何かを解りやすく話させていただきます。

「昔、インドに相思相愛の王様夫婦がいました。ある日王様が最愛の奥様に、『よく考えてみると、私は、最愛のお前より、私自身が一番愛しいように思う。』といわれました。それに対して奥様も、『実は、私も、貴方より私自身の方が一番愛しいと思います。』と答えられました。王様は『皆が皆、自分自身が一番可愛いと思ったら、この世の中は成り立たないから、お釈迦様に聞いてみよう。』と云って二人でお釈迦様を尋ねたそうです。お釈迦様は、二人の話を聞いて『人間は誰でも皆、自分自身が一番可愛いのです。それでいいのです。ただ、相手も、自分自身が一番可愛いと思っていることを忘れないように。』とお諭しにられました。」

ここに相手に対する思いやりの心が生まれるのです。自分以外の人に対する愛が始まるのであります。世の中の人々が皆、このような心、「他人の事を思いやり、他人のために尽くす」という心を持って初めてこの世の中が成り立つのであります。自分自身を愛することが出来て初めて人を愛することが出来るのです。そして世の中の人々のことを考えることが出来るのであります。これがとりもなおさず「ロータリーの心」であります。

ここで職業奉仕の説明をします。職業奉仕は儲けたいという内向きのエネルギーとお客に役立ちたいという外向きのエネルギーの調和ですこれは寛容なくしては果たせません。この相反するエネルギー中心に、ロータリーの心（相手に対する思いやりの心）を置くことが職業奉仕であります。またこれが巡り巡って自らの利益へ帰ってくるという因縁果律（世の中の成り立ちは、善悪で構成されているのではなく、あくまで前世因縁なのである）。です。地球上でボールを投げあげたら、やがて地上に落ちてくることに似て、覆すことのできない自然の法則なのです。だからこそ永続きしているのです。

（ロータリーの変貌）奉仕の第1世紀を終え、国際ロータリーはロータリアンに「ロータリーの心」を浸透させ、ひいては世間の人に高潔性を以ってなるロータリーとして認知してもらうという初期の目的を達成することに失敗しました。

「ロータリーの心」は世間で認知されないばかりか、ロータリアン自身の職業上の不正も相次いでいます。ロータリーの存在すら世間に認知されていないありさまです。インシュタインは語りました。「同じことを繰り返しながら、違う結果を期待することは、狂気である」と。かくしてRIは従来の手法を変えて出してきたのが、「戦略計画」、財団の「夢計画」に他ならないのです。「戦略計画」それを支える「夢計画」で訴えていることは、「人道的奉仕活動の重点化と増加」であります。そのための財政的支援、それを可能にする会員増強、それを促進する公共イメージ、認知度の向上を目指したのです。ところが「人道的奉仕」が「職業奉仕」を凌駕してしまったのです。この変貌が行く末を不安にしている現在の現状です。

このように、ロータリーから基本的理念が失われ、例会・職業奉仕は形骸化し、ロータリーの空洞化となり、安易なボランティア団体に移行してしまう事を絶対くい止めなければなりません。それは、ほこり高き日本のロータリー文化を受け継いで、例会・職業奉仕を大切にしたい人づくりのロータリーの構築です。

（「続ロータリーを語ろう」・「新ロータリーを語ろう」）

<謝辞>

高山西ロータリークラブ会長 井辺 一章 様

皆様、本日はご苦勞様でした。劔田ガバナーには素晴らしいスピーチ本当にありがとうございました。本日の高山3ロータリークラブのガバナー公式訪問例会に平均78.48%の出席率に感謝いたします。これで御礼の挨拶とさせていただきます。



<ニコニコBOX>

本日はよろしくお願ひします。 **ガバナー 劔田 廣喜**

本日はガバナー公式訪問で大変お世話になります。よろしくお願ひ申し上げます。

濃飛グループガバナー補佐 長瀬 隆

国際ロータリー第2630地区ガバナー 劔田廣喜様
濃飛グループガバナー補佐 長瀬隆様 本日はご指導よろしくお願ひ致します。

また、地区委員会委員長および委員の皆様、地区大会実行委員長及び地区幹事の皆様、本日は、ご出席ありがとうございます。よろしくお願ひ致します。

高山ロータリークラブ 会長 住 宏夫
高山西ロータリークラブ 会長 井辺 一章
高山中央ロータリークラブ 会長 田中 雅昭